

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

東海市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和2年4月～令和3年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
らんらんバス利用者数： 309,884人/年(H26)→ 365,000人/年(R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕ダイヤの設定 ・バスロケーションシステムの導入 ・GTFSデータの公開 ・定期券の導入 ・QRコード決済の導入 ・車内抗菌処理 	バス事業者からの利用者明細表	299,336人/年 新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により急激に利用者数が落ち込んだ。	車内消毒だけでなく、抗菌処理を施し、その旨をしっかりとPRしておくことで、安心して利用してもらえる環境を整えていく。	
買い物、通勤、通学などの日常生活での移動がしやすいと思う人の割合： 55.7%(H24)→60.5%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕ダイヤの設定 ・バスロケーションシステムの導入 ・GTFSデータの公開 ・定期券の導入 ・QRコード決済の導入 	市民アンケート	63.8% 朝夕ダイヤの新設、バスロケーションシステムの導入等、利用者の利便性向上を図ったことから改善に繋がった。	定期券やQRコード決済の周知を図り、利便性の良さを理解してもらい、通勤・通学で駅を利用される方の利用を増やしていく。	
らんらんバスの満足度 55%(H23)→70%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕ダイヤの設定 ・南ルートへの延伸 ・バスロケーションシステムの導入 ・GTFSデータの公開 ・定期券の導入 ・QRコード決済の導入 	市民アンケート (R4調査予定)	-	新たな生活様式による公共交通利用者のニーズを把握するため、市民アンケート及びOD調査を実施し、次期計画及びルート・ダイヤ改正に繋げていく。	
75歳以上高齢者の外出率 53%(H23)→65%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者循環バス利用促進事業 ・免許証自主返納支援事業 	中京都市圏パーソントリップ調査(R3調査)	-	福祉部局等と連携を図りながら、高齢者を対象とした乗り方教室を実施する際に、バスロケーションシステムの使い方についても説明し、バスの利便性について知ってもらうことで、利用促進に繋げていく。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自で作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。